



2016年度「連帯社会」連続講座

主催：公益財団法人 日本労働文化財団

連帯社会研究交流センター

参加費無料
要申込

「連帯社会研究交流センター」は、連合、日本労働文化財団、労働者福祉事業団体、生活協同組合が法政大学と連携して設立した修士課程大学院コース「連帯社会インスティテュート」（通称：連合大学院）の支援・連携組織として、連帯社会構築にむけてのさまざまな研究交流の機会を企画・実施しています。

昨年度に引き続き、「連帯社会」に関わる研究者の方々に問題提起をいただく連続講座を企画いたしました。第3回は、篠田徹氏をお招きして、「労働運動と協同組合が結ぶ連帯社会への可能性」というテーマでご講演いただくこととなりました。ご関心のある方々に広くご参加いただきますようお願い申し上げます。

なお、参加申し込み方法につきましては、連帯社会研究交流センター・ウェブサイト上で行なう方法をとらせていただきますので、「イベント・シンポジウム」<<http://recss.jp/event.html>>をご参照ください。

なお、講演のテーマに関する参考文献としては、篠田徹(2016)『協同社会運動の主体形成を促す史的視野の研究』（全労済協会公募研究シリーズ46）があります。

第3回：労働運動と協同組合が結ぶ連帯社会への可能性

日時 2016年12月10日（土）14：30～16：30（14:00開場）

場所 法政大学大学院棟 201教室

講師：篠田 徹 氏

早稲田大学社会科学総合学術院教授

篠田徹(しのだとおる)氏のプロフィール

1959年東京生まれ。早稲田大学政治学研究科博士課程中退。北九州大学法学部専任講師、早稲田大学社会科学部助教授、ハーバード大学ライシャワー日本研究所客員研究員などを経て現職。主著に『世紀末の労働運動』（岩波書店）、共編著に『2025年 日本の構想』（岩波書店）、『ポスト福祉国家とソーシャル・ガバナンス』（ミネルヴァ書房）、『労働と福祉国家の可能性—労働運動再生の国際比較』（ミネルヴァ書房）ほかがある。



【会場】法政大学大学院棟案内図

プログラム

* 来聴歓迎 *

14：30～16：00 講演
16：00～16：30 質疑応答

～お問い合わせ～
連帯社会研究交流センター
(ReCSS)
URL: <http://recss.jp>
e-mail: info@recss.jp

東京メトロ南北線/有楽町線「市谷駅」

5番出口下車徒歩3分

